

授業科目 生活援助技術Ⅴ

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	社会（介護福祉コース必修選択）
岡田 史		開講時期	前期	必修・選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力引き出したり、見守ることを含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する。 ○自立にむけた家事の介助の技法を身につける。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1)生活における家事の意義と目的を明らかにできる 2)家事の種類や実践方法が理解できる 3)家事を遂行することができなくなったときの生活障害が理解できる 4)家事を自立支援の視点から援助することが理解できる 5)家事を自立支援の視点から援助する技術が身につく					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	家事の意義と目的			1	講義・演習
2	家事に関する利用者のアセスメント			2	講義・演習
3	家事の種類と方法			3	講義・演習
4	家事の種類と方法			5	実技演習
5	家事の種類と方法			5	実技演習
6	家事の種類と方法			5	実技演習
7	家事の実際（洗濯）			5	実技演習
8	家事の実際（買い物）			5	実技演習
9	家事の実際（縫い物）			5	実技演習
10	家事の実際（縫い物）			5	実技演習
11	家事の実際（ごみだし）			5	実技演習
12	ともにこなう家事			4	実技演習
13	ともにこなう家事			4	実技演習
14	ともにこなう家事			4	実技演習
15	ともにこなう家事			4	実技演習
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席・実技や演習への参加態度・実技で評価		実技が中心の授業となりますので、動きやすい服装と上履きが必要です。 テキストは現在選考中ですので、決定次第お知らせいたします。			